

三重県議会議員
自民党会派



村林さとし

県政レポート

県政かわら版

2017年3月
総括的質疑要約号

いつもありがとうございます。三重県議会議員をさせて頂いております、村林さとしです。2015年12月8日に行いました、予算決算常任委員会当初予算要求状況にかかる総括的質疑について、ご報告します。少し古い内容になりますが、県政に動きがありましたので、現在(2017年3月)からの視点で解説を加えてお話しします。

※要約したもの他に、『伊勢まだいへの支援について』、『クロノリ共同施設』、『がんばる林業の事業』などについて質疑しました。

総括的質疑の要約

◆マハタの種苗生産について

(村林 聡) マハタの種苗生産についてお聞きします。このマハタの種苗生産は、他県が追いつけない、三重県の独自技術であると聞いております。厳しい状況にある海面養殖業者さんですが、マダイの2割をこのマハタに置きかえますと、4割の収入アップになるそうであります。こうしたことから、このマハタの種苗生産には期待が大きくて、現在、三重県で生産できるのは年間20万数千尾ですが、漁業者さんからの要望は44万尾です。この要望にできるだけ近づけていくべきだと考えます。どのように取り組んでいくのか、お聞かせいただきたいと思います。



教育警察常任委員会県内調査
水産高校にて

(農林水産部 吉仲部長) 今考えております空き施設のですね、空き水槽をうまく活用していくというのが1点、それから秋採卵という、いわゆる春に今、卵をとって孵化させるんですが、もう一回秋にとれば2回になりますんで、それも現実的にできます。

◆アサリの資源回復に河川の堆積土砂を活用できないか

(村林 聡) 続いてですね、アサリの資源回復についてお聞きします。愛知県のほうで大変大きな干潟が造成されて、現在、愛知県の三河湾の一人勝ちというようにも聞かせていただいております。三重県もアサリの資源回復のために干潟の造成についてはよろしくお願ひしたいと思います。

県土整備部にお伺いしたいと思うんですけども、河川堆積土砂の問題というのは他の議員からも繰り返し質問されている全県的な課題です。このアサリの資源回復のための干潟造成に河川の堆積土砂が活用できれば一石二鳥になるわけですが、県土整備部としてどのようにお考えでしょうか、お聞かせください。



予算決算常任委員会 総括的質疑の様子

(県土整備部 水谷部長) なかなか進まない河川の堆積土砂撤去についてですね、他の公共事業でもって河川の対策土砂を利用していただき、河川の堆積土砂の撤去が進むということについては、非常にありがたいことであるし、そういうことがあればぜひともどんどん進めていただきたいと思います。河川管理者として安全性という視点で特にしっかり確認をした上で、可能な限りの支援でありますとか、協力についてはしていきたい、していくことによって河川堆積土砂の撤去が進むことについて積極的な取組をしていきたいと考えています。

(裏面へ続きます)

◆若者定住のための奨学金返還支援事業

(村林 聡) 施策番号227地域と若者の未来を拓く高等教育機関の充実の中で、新規事業として地域と若者の未来を拓く奨学金支援事業を上げてくださっております。私が以前から主張しておる若者定住のための奨学金とは、似て非なる部分があると考えております。産業人材だけではなく、県内に戻って農林水産業に従事する若者も対象にさせていただける御予定があるのかというところを御答弁よろしくお願ひしたいと思います。

(戦略企画部 竹内部長) 奨学金の返還に対する減免支援ということで、制度創設に向けまして2つの観点、産業を担う人材それから若者の県内定着、2つの視点からどういった学生さんを支援の対象にするのか、国の特別交付税の支援であるとか、それから他県の先行事例幾つかありますので、そういったところも踏まえてですね、本県の実態を踏まえた、実情を踏まえてですね、しっかり検討して議論していきたいなというふうに思っています。

解説

『地域と若者の未来を拓く奨学金支援事業』という若者定住のための奨学金返還支援事業ができました。この質疑はその事業ができる時のものです。産業人材の育成のための奨学金になるのではないかと心配していたのですが、この質疑のあと結果として、南部地域などの条件不利地域への定住を条件とする奨学金返還支援事業となったのでした。鈴木英敬知事のご英断、戦略企画部の取り組みに感謝しています。

平成28年度 三重県地域と若者の未来を拓く学生奨学金返還支援事業

指定地域

【全域が対象となる市町】
伊勢市、鳥羽市、志摩市、尾鷲市、熊野市、多気町、明和町、大台町、玉城町、南伊勢町、大紀町、度会町、紀北町、御浜町、紀宝町

【一部の地域が対象となる市町】
桑名市、いなべ市、鈴鹿市、亀山市、津市、松阪市、伊賀市、名張市

学生の皆さんに朗報！
奨学金返還額の一部を助成します！

※詳しくは、三重県戦略企画部戦略企画総務課企画調整班までお問い合わせください。
Tel:059-224-2009 Mail: sensomu@pref.mie.jp

◆定住のための仕事を創る(新しい仕事モデルや、半農半X(エックス)について)

(村林 聡) 地方創生政策討論会議や人口減少対策調査特別委員会からですね、県の役割として市や町に新しい仕事モデルを提示するようにという提言がなされております。

(農林水産部 吉仲部長) 半農半エックスという委員がいろいろと御提案されておることです。(以下省略)

(村林 聡) 今までの、農業なら農業だけで食べていくというような考え方をばっちりとやってもらった中で、さらに少し半農半エックス的な組み合わせなんかも一部柔軟に考えていっていただけるということです、感謝申し上げます。



(新)若者農村移住チャレンジ応援事業
(8,250千円)2月補正

●農村での半農半Xなど多様な働き方の実現を応援
【農業戦略課】



解説

若者定住のためには働く場が重要です。農林水産業と、現金収入を確保するための他の仕事とを組み合わせられないか、という提案をしてきました。それが、ここでいう『半農半X(エックス)』です。

この質疑のあと結果として、農林水産部の事業のなかに、半農半Xの考え方や事業が入りました。今後も、住み続けられる地域にできるよう、取り組んで参ります。

普段の生活の中で感じていることやご意見等もお気軽に。

発行：編集「村林 さとし事務所」
「村林 さとし後援会」

〒516-0101 三重県度会郡南伊勢町五ヶ所浦727-4
TEL:0599-67-0067 FAX:0599-67-0068
ホームページ <http://www.murabayashi.net>